

# FUJIIRYŌKI

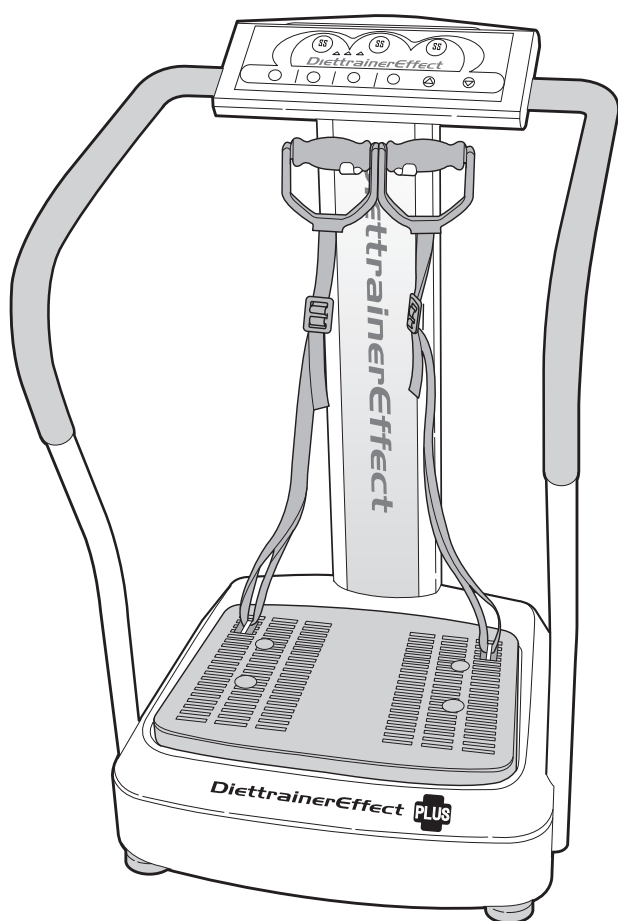
## 取扱説明書

### エクササイズマシーン

## DiettrainerEffect PLUS

ダイエットトレーナー エフェクト プラス

# DT-2



## もくじ



安全上のご注意	1～3
各部のなまえとはたらき	4
使い方（製品特長）	5
使い方（ご使用の手順）	6
使い方（ベルトの使い方）	7
使い方（フィットガイド）	8～13
お手入れ・故障かなと思ったら・主な仕様	14
修理・サービスと保証	裏表紙

- このたびは当社のダイエットトレーナー エフェクト プラス DT-2をお買い上げいただき誠にありがとうございました。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。特に安全上のご注意（1～3ページ）はご使用前に必ずお読みください。
- この説明書は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 保証書は必ずお受け取りください。
- 包装に使用しているダンボールなどは、分別の上、リサイクルにご協力をお願いいたします。

# 安全上のご注意




## 1. 製品を安全にお使いいただくために

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」・「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 <b>警告</b>	取り扱いを誤った場合、 <b>使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度。</b>
 <b>注意</b>	取り扱いを誤った場合、 <b>使用者が傷害を負うことが想定されるか、または *物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。</b>


\*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

### <絵表示の例>





	△記号は、 <b>警告・注意</b> を促す内容があることを告げるものです。 (左図の場合は一般的な警告・注意)
	⊘記号は、 <b>禁止</b> の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は、行為を <b>強制</b> したり <b>指示</b> したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

- この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

## **警告**

	<p>次の人は、使用前に医師に相談してください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人</li><li>●悪性しゅよう(腫瘍)のある人 ●心臓に障害のある人</li><li>●妊娠中の人。また、出産直後の人</li><li>●糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人</li><li>●皮膚に創傷のある人 ●安静を必要とする人</li><li>●体温38℃以上(有熱期)の人 (例:急性炎症症状[けん(倦)怠感、悪寒、血圧変動など]の強い時期。衰弱している時。)</li><li>●骨粗しょう(鬆)症の人、せきつい(脊椎)の骨折、急性[とう(疼)痛性]疾患の人</li><li>●背骨(脊椎)に異常のある人または背骨が左右に曲がっている人</li><li>●捻挫、肉離れなど炎症性の人</li><li>●上記以外に身体に特に異常を感じているとき</li></ul>
	使用中、身体の痛みやしびれ、めまい、動悸などの異常を感じたときは直ちに使用を中止すること。


**警告**

	<p>次の方は必ず医師に相談の上、その指示に従ってください。 心臓病(狭心症、心筋梗塞など)、高血圧症、変形性関節症、妊娠中の方、その他身体に病気・障害のある方は、本機をご使用になる前に必ず専門の医師にご相談ください。</p>
	<p>ペースメーカーなどの体内植込み型医用電機器を使用している人は、使用前に医師に相談してください。その他、使用前には必ず取扱説明書の注意事項を確認してください。</p>
	<p>可動部のスキ間に手足や手足の指を近づけないでください。また、小さなお子様が近くにいないことを確認し使用してください。指をはさむなど思わぬ事故の原因となることがあります。</p>
	<p>本機は、平らで安定した場所に設置してご使用ください。 不安定な場所で使用すると、本機にかかる負荷が偏り故障の原因になる他、身体に悪影響を及ぼす恐れがあります。また、共振・騒音の原因になります。</p>
	<p>動かなくなったり異常がある場合はすぐに電源プラグを抜いて、ご購入先に点検・修理を依頼すること。感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。</p>
	<p>ベルト使用時にベルトの一部が体や本機に巻きついたり、引っ掛かったりしないようにご注意ください。故障やけがの恐れがあります。</p>
	<p>湿気の多い場所、水周りなどの近くには設置しないでください。感電の原因となる事があります。</p>
	<p>分解、修理、改造を行わないでください。製品の故障、火災や感電の原因となります。修理は、必ずご購入先又は当社にご相談ください。</p>
	<p>運動板の回りの隙間に飲食物や物などの異物を入れないでください。けがや製品の故障の原因となる事があります。</p>
	<p>交流100V以外は使用しないこと。火災・感電の原因になります。</p>
	<p>電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないこと。感電、ショート、発火の原因になります。</p>
	<p>電源コードを傷めないこと。 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないこと。また、重いものを載せたり、特に移動中は挟み込んだりしないこと。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。</p>
	<p>子供だけで使わせたり、自分で意思表示できない人には使用させないこと。また、幼児を近づけないこと。感電・けがをする恐れがあります。</p>

# 安全上のご注意

## ⚠ 注意

⚠	両足を開いてご使用になる場合、ひざを軽く曲げてご使用ください。 ※注意：必要以上に振動を与えると、体に悪影響を及ぼす恐れがあります。ひざを曲げずに直立姿勢で使用すると、頭が強くゆれたり、ひざ関節に負担がかかる恐れがあります。
	安全と健康のために、使い始めはスピードは遅く、時間は5分以内を目安にご使用ください。※注意：必要以上に振動を与えると、体に悪影響を及ぼす恐れがあります。
	ベルト収納時・使用時に、ベルトの一部が運動板のすき間に入らないようにご注意ください。故障やけがの恐れがあります。
🔌	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。
	使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。 ホコリや湿気で絶縁劣化になり、漏電火災の原因になります。
	お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります。
🚫	運動板を枕にしたり、腹這いになったり、フィットガイド(8~13ページ)以外の無理な姿勢で使用しないでください。思わぬ事故の原因になります。
	本機の清掃は、布で乾拭きしてください。シンナーや揮発油は絶対に使用しないでください。変色、変形の原因になります。
	ストーブなど火気の近くで使用したり、たばこを吸いながら使用しないでください。又ホットカーペット等の暖房器具の上で使わないでください。 火災の恐れがあります。
	はだしでは使用しないでください。事故やけがの恐れがあります。
	ペットには使用しないでください。 ペットがけがをしたり、体調不良の原因になる恐れがあります。
	飲食をしながら使用しないでください。 体調不良の原因や、飲食物がこぼれて故障の原因になる恐れがあります。
	アースを確実に取り付けてください。取付けが不完全な場合、感電の原因となる事があります。また、水道管、ガス管、電話のアース線、避雷針に接続しないでください。

## アースについて

### ⚠ 注意



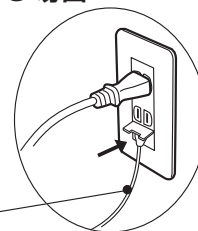
アースを確実に取り付ける。  
アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。アースの取付けは、ご購入先にご相談ください。

#### 接続してはいけないところ

ガス管……爆発や引火の危険があります。  
電話線や避雷針……落雷のとき危険です。  
水道管……途中がプラスチックの場合はアースになりません。

#### 電源コンセントにアース端子がある場合

- アース線(付属)を本体のアース端子ネジと電源コンセントのアース端子に取り付けてください。



#### 電源コンセントにアース端子がない場合

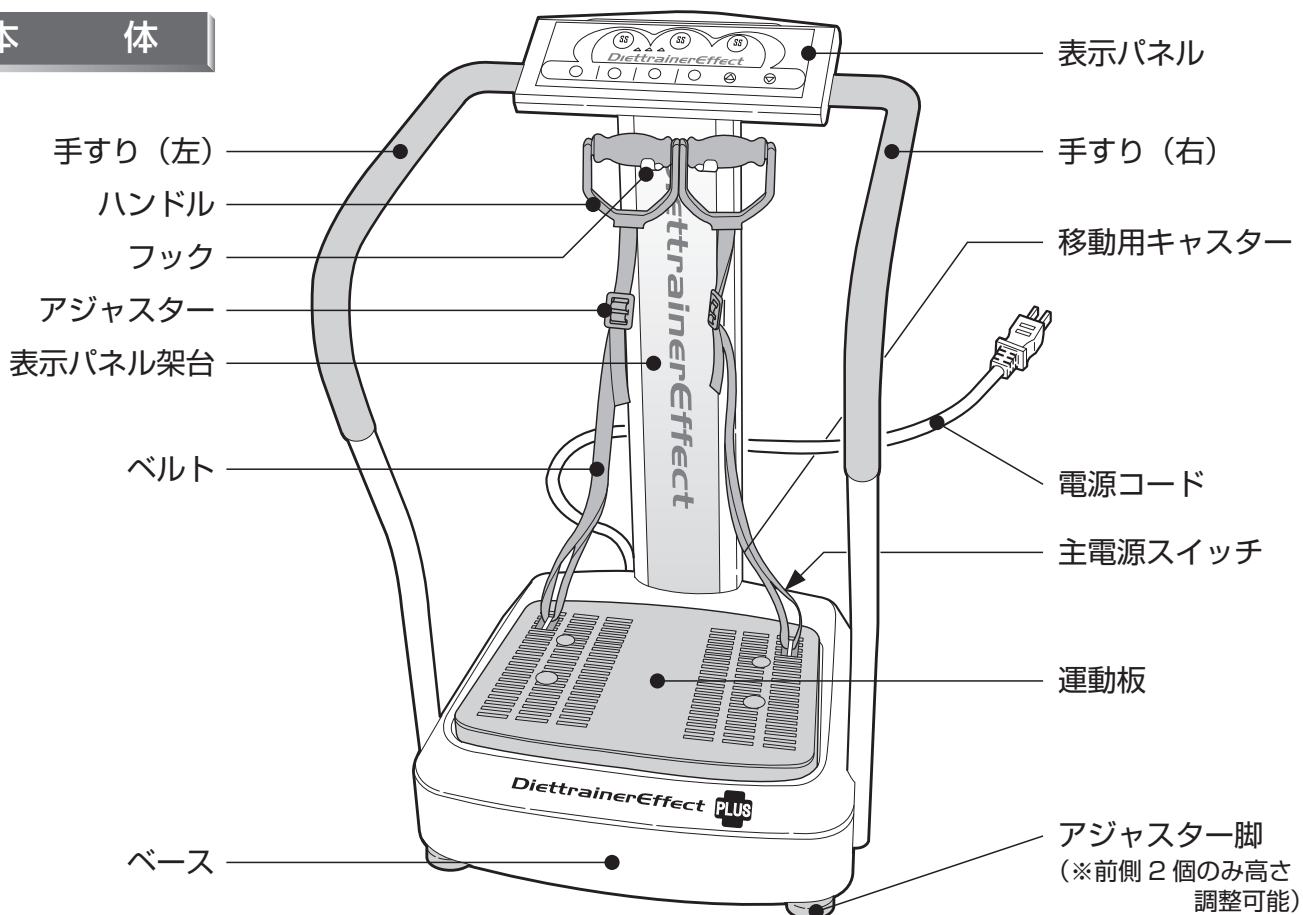
- ご購入先・電気工事店に相談し、アース工事(第3種接地工事・有料)をしてください。

# 各部の名前とはたらき

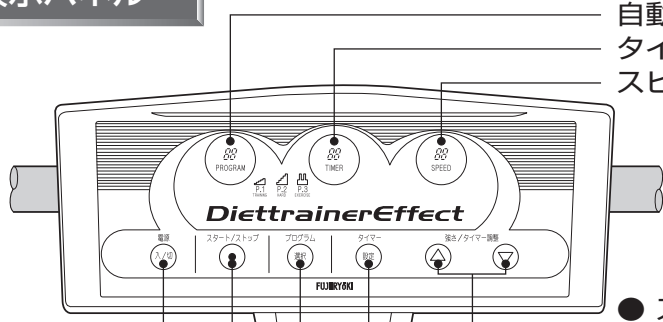
## 2. 各部の名称及び付属品

### ■ 各部の名称

#### 本 体



#### 表示パネル

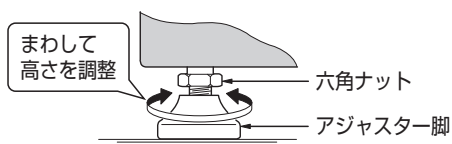


#### 付 属 品

- 電源コード
- 部品、組立工具
- 組立説明書
- 取扱説明書
- 保証書
- 敷きマット
- アース線
- フック

### 設置について

- 共振や騒音をおさえるため、付属の敷きマットを本機の下に敷いてください。
- 本機は、水平で硬い床にがたつかないように設置してください。  
右図のように、前側 2 箇所のアジャスター脚根元の六角ナットをスパナでゆるめ、アジャスター脚をまわしてがたつきをなくしてください。調整が終了したら、六角ナットをしっかりしめなおしてください。





# 使い方

## 3. 製品特長

### ● 多彩なトレーニングが可能

使い方の少しの変化で、運動する筋肉の部位や運動の量が変わります。  
ベルトをプラスしたトレーニングで、より多くの部位をきたえることができます。

### ● LED表示

3つのデジタル表示でプログラム、タイマー及びスピードを表示しています。

### ● プログラム設定

4種類の運動モードから身体にあったものをお選びいただけます。

(88)	手動モード	……	1~15分	に設定可能
(P1)	自動モード1	……	5分	固定タイマー
(P2)	//	2	……	//
(P3)	//	3	……	//

### ● スピード調節

手動モードでは、1~20段階のスピード調節が可能です。  
自動モードでは、プログラムされたスピード変化パターンで動作します。

### ● タイマー機能

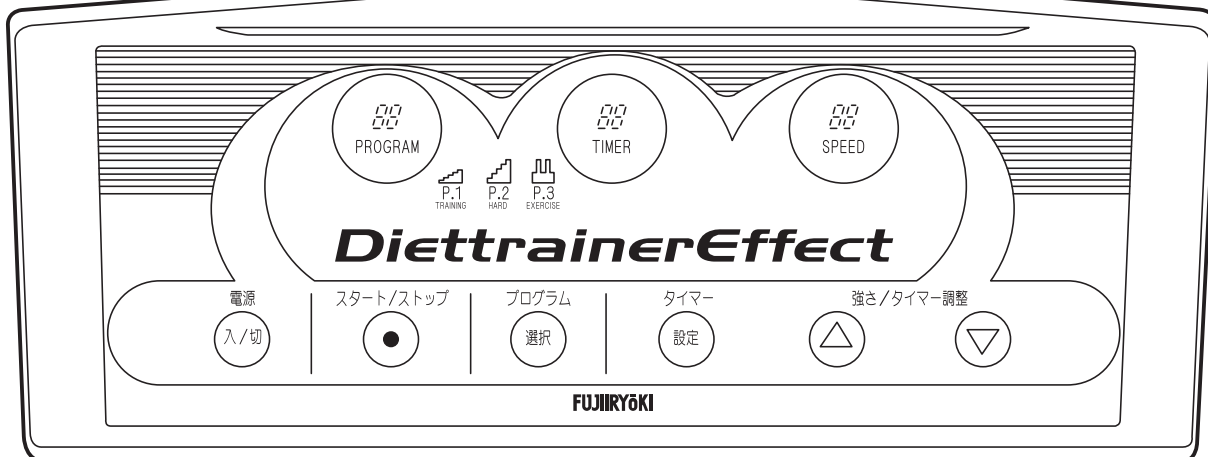
タイマー設定は手動モードでは⊕⊖のスイッチを押すごとに1分刻みで最大15分まで設定ができ、自動モードでは5分に設定されます。

### ● 使用範囲

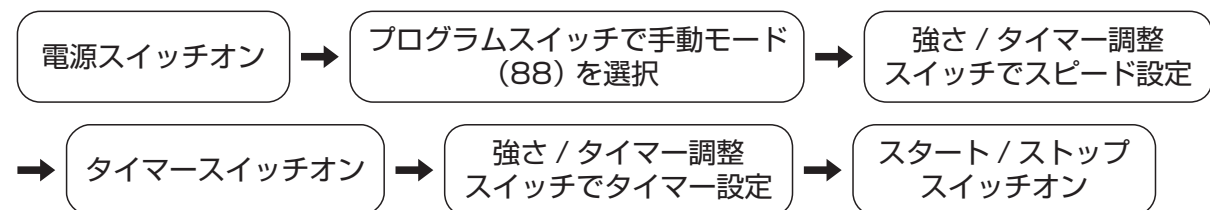
体重120kgの方までご利用いただけます。

### ● らくらく移動

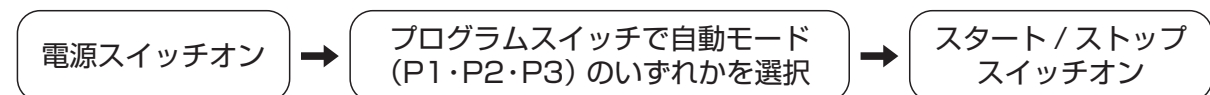
本機にはキャスターが付いておりますので楽々と移動することができます。  
※ (タタミやフローリングの床ではキズ付くことがありますのでご注意ください)



### 〈手動モード設定〉



### 〈自動モード設定〉

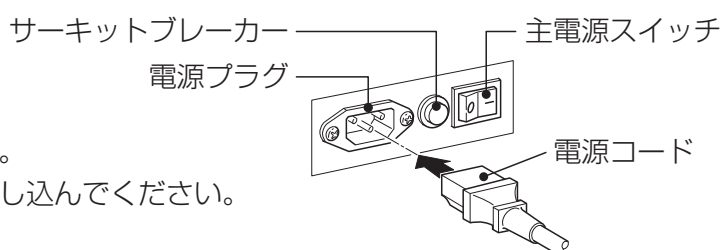


## 4. ご使用の手順

### 操作のしかた

#### ● 電源

- ・電源プラグに電源コードを接続してください。
- ・接続した電源コードを正確にコンセントに差し込んでください。



#### ● スタート時の準備

- ・本機の運動板の中央に乗る又は脇に立って、表示パネル上のスイッチを操作してください。

#### ● 電源を入れる

- ・電源スイッチ（入/切）を入れる。  
電源が入るとパネルのデジタル表示が点灯します。（再度押すと消えます）  
PROGRAM 表示「88」、TIMER 表示「05」、SPEED 表示「00」

#### 1. 手動モード操作手順

PROGRAM「88」の状態から、

- ① 強さ/タイマー調整スイッチ「△」「▽」でスピード（1～20）を選択する。
- ② 「タイマー設定」を押す。TIMER 表示が点滅します。
- ③ 強さ/タイマー調整スイッチ「△」「▽」でタイマー（1～15）を選択する。
- ④ 「スタート/ストップスイッチ」を押す。→ 作動開始  
※スピードは作動中でも変更可能です。

〈お願い〉タイマーで長い時間を選択する場合は、遅いスピードでのご使用をおすすめします。  
ご自身の体調に合った時間とスピードを選び、無理はしないでください。



### 注意



初めてお使いになる方や高齢者の方は、必ず振動の少ない中央位置から始めてください。スピードも遅い状態から始めてください。

#### 2. 自動モード操作手順

PROGRAM「88」の状態から、

- ① 「プログラム選択ボタン」で希望のプログラム「P1・P2・P3」いずれかを選択する。  
※「プログラム選択ボタン」は、押すごとに「P1」「P2」「P3」「88」の順に切替わります。  
※それぞれのプログラムの SPEED が表示されます。
- ② 「スタート/ストップスイッチ」を押す。→ 作動開始

※使用途中に停止する場合は、スタート/ストップスイッチ又は電源スイッチを押して停止させてください。使用途中にモード変更する場合も、いったん停止させてから再設定してください。



### 警告



使用中、身体の痛みやしびれ、めまい、動悸などの異常を感じたときは直ちに使用を中止すること。



使用時の健康状態など、必ず本取扱説明書の注意事項を守ってください。



### 注意



本機から降りる際は運動板が完全に停止したことを必ず確認してください。



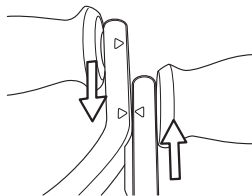
動作開始後、運動板に乗る場合や姿勢を変える場合は、手すりを持つなど十分に注意をしてください。

# 使い方

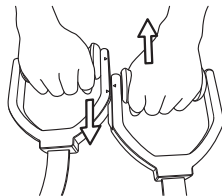
## 5. ベルトの使い方

### ハンドルの取付け・取はずし方

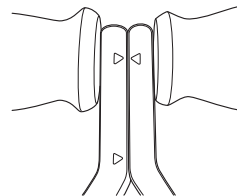
#### ● ハンドルの取付け方



① ハンドルの下の▷印と、もう片方の◁印を合わせてください。



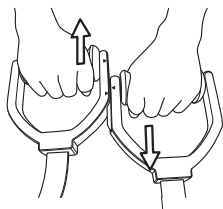
② 片方のハンドルの凹部にもう片方の凸部を差し込むように左右をずらしてください。



③ 両方のハンドルの上の▷印と◁印が合うまでしっかりずらしてください。

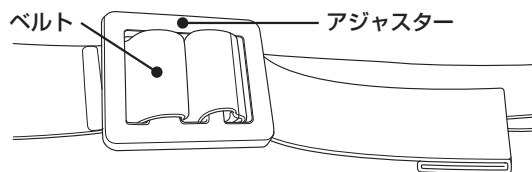
#### ● ハンドルの取はずし方

① 左右のハンドルを取付た時の逆の方向にずらしてはさしてください。

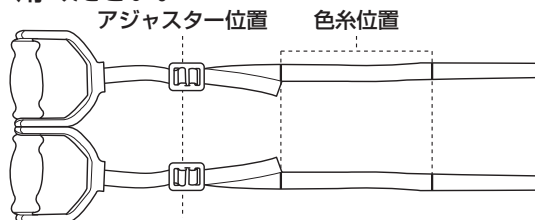


### ベルトの長さの調節方法

● ベルトの長さは、アジャスター部のベルトをゆるめ、アジャスターをずらしながら調節してください。

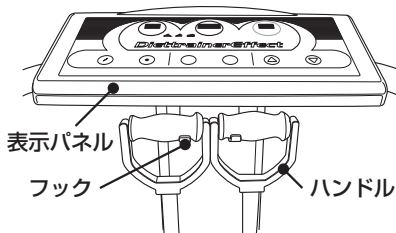


● 左右のベルトはアジャスターと色糸位置を目印にして左右の長さをあわせてご使用ください。



### ベルトの収納方法

● ベルトは、本器表示パネル下部のフックにハンドルを掛けて、収納してください。ベルトを使用せずに本器をお使いになる場合も、ハンドルを左右接続した状態でフックに掛けてご使用ください。



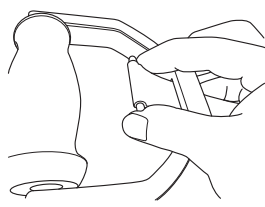
注) ベルトが長いまま収納しますとひっかかる恐れがありますので、短くしてから収納してください。

### ベルトの取はずし方

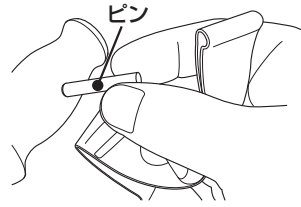
● ベルトを使用されることがない方で取はずしたい場合は、下記の手順で行なってください。



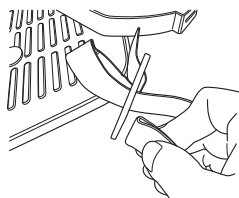
① マイナスドライバーをキャップの間に差し込み、キャップをはずしてください。



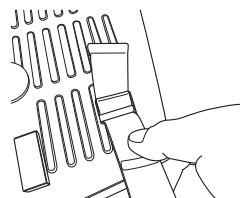
② ベルトの先端を引き出してください。



③ ベルトの先端のピンをはずして、ハンドルからベルトを抜いてください。



④ ベルトをアジャスターから抜いてください。



⑤ ベルトを運動板から抜いてください。

#### (ベルトの取り付け方)

\* ベルトを取り付ける場合は、右図のようにベルトのハンドル側の先端を運動板の穴に差し込み、付属のプラスドライバーで引き上げて通してください。あとは「取はずし方」の逆の手順で、取り付けてください。





## 6. フィットガイド (スタンダード編)

### ～ 今日から楽しくトレーニング～

#### ⚠ 注意

はだしでは使用しないでください。事故やけがの恐れがあります。初めてお使いになる方や高齢者の方は、必ず振動の少ない中央位置から始めてください。スピードも遅い状態から始めてください。

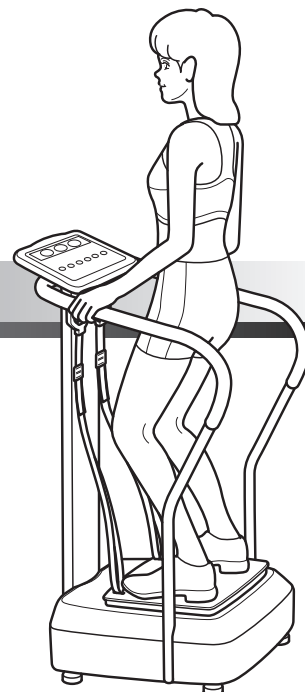
### 中腰ポーズ

イラストのように、本機の上で軽く中腰になり両手で手すりを握ってください。

#### ⚠ 注意

必要以上に振動を与えると、体に悪影響を及ぼす恐れがあります。

腹筋、下半身の運動になります。



### 直立ポーズ

イラストのように、本機の中央に立ち安全のため両手で手すりを握ってください。

#### ⚠ 注意

ひざを曲げずに直立姿勢で使用すると、頭が強くゆれたり、ひざ関節に負担がかかる恐れがあります。

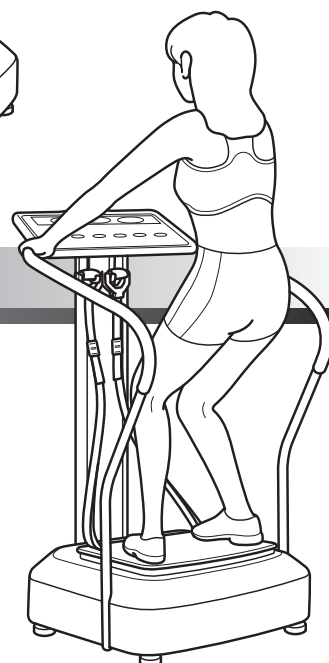
全身の運動になります。



### 中腰、内股ポーズ

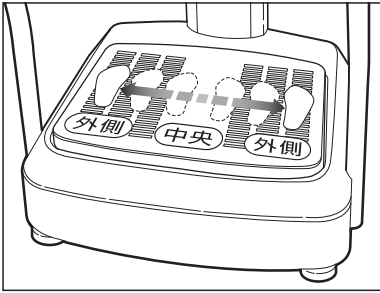
イラストのように、ハの字 (内股) に脚を広げ、手すりの前を握ってひざを曲げてください。

太ももの内側、腹筋の運動になります。



# 使い方

**ポイント** → (足の開き幅で振動の強さを調節することができます。)

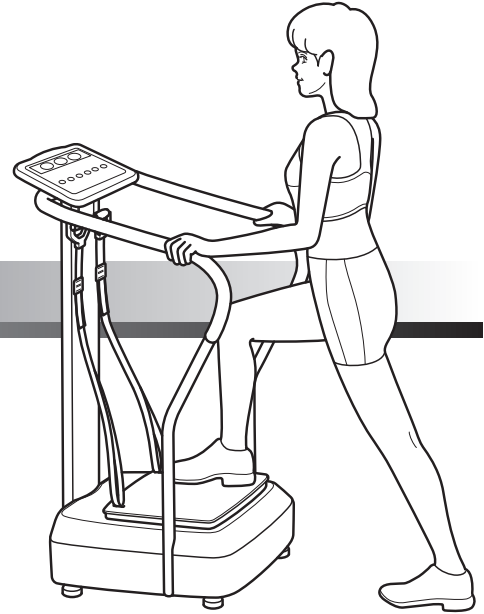


運動板の中央から外側へ足を開くにつれて、振動は強くなります。ご自身の体調に合わせた無理のない強さでご使用ください。運動板より足がはみ出さないようにご注意ください。

## 片足ポーズ

イラストのように、本機の正面に立ち足を乗せ、両手で手すりを握ってください。

下半身の運動になります。

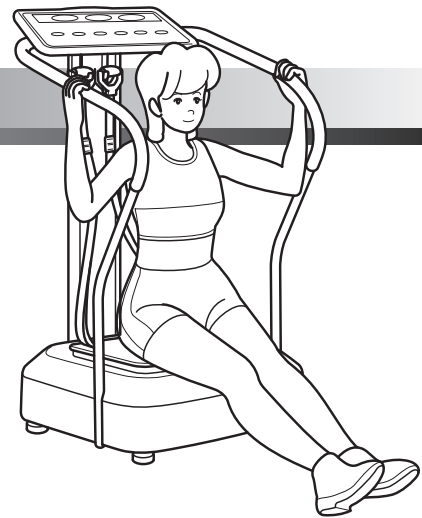


## 座りポーズ

イラストのように、本機の中央に腰を掛け、足を伸ばし、両手で手すりを握ってください。

**注意** 必要以上に振動を与えると、体に悪影響を及ぼす恐れがあります。

腹まわり、腰まわりの運動になります。

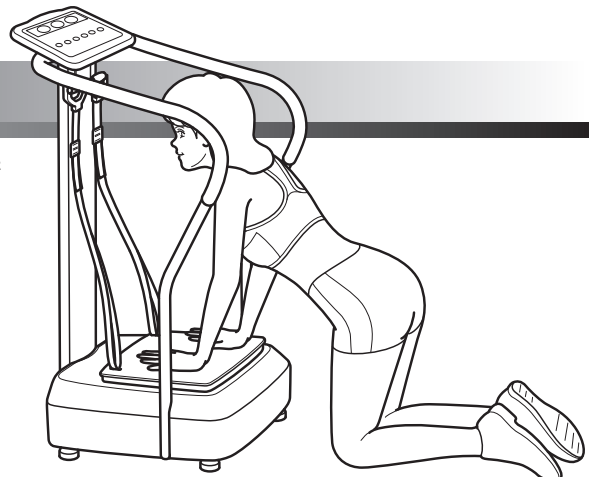


## 両手ポーズ

イラストのように、本機正面に向かい、腕を軽くまげた状態で両手を乗せてください。ひざをつき、腰は上げた状態です。

**注意** ひじを曲げずに伸ばして使用すると、頭が強くゆれたり、ひじ関節に負担がかかる恐れがあります。

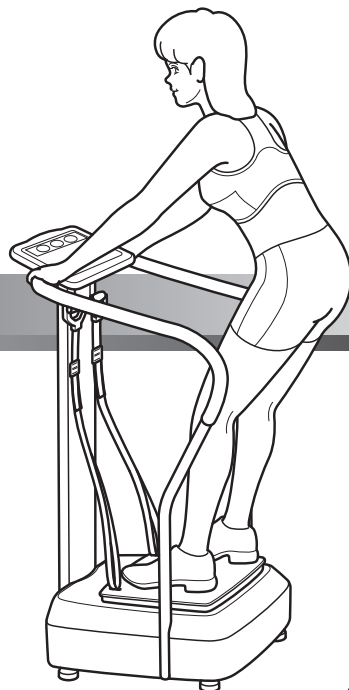
前腕、上腕及び上半身の運動になります。



## お尻突き出しポーズ

イラストのように、肩幅に足を広げ、両手でバーをしっかり握ります。  
両脚を伸ばしたまま、お尻を後ろに押し出すように伸ばしてください。

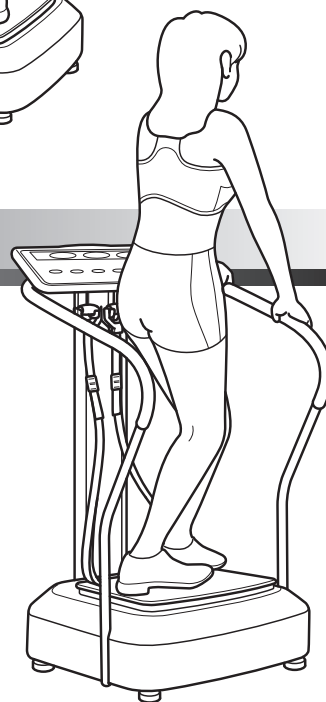
腹まわり、腰まわり、太ももの運動になります。



## 横向きポーズ

イラストのように、横を向いて立ち、両手で正面の手すりを握ります。  
前後に脚を開き、少しひざを曲げ、かかとが浮かないようにしてください。

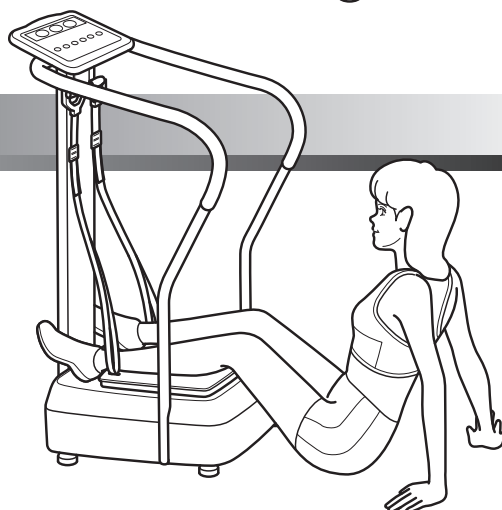
太もも、ひざ、ふくらはぎの運動になります。



## 足枕ポーズ

イラストのように、本機の上に両脚ふくらはぎを乗せてください。両手を床について身体を支えてください。

太もも、ふくらはぎ、腰まわりの運動になります。



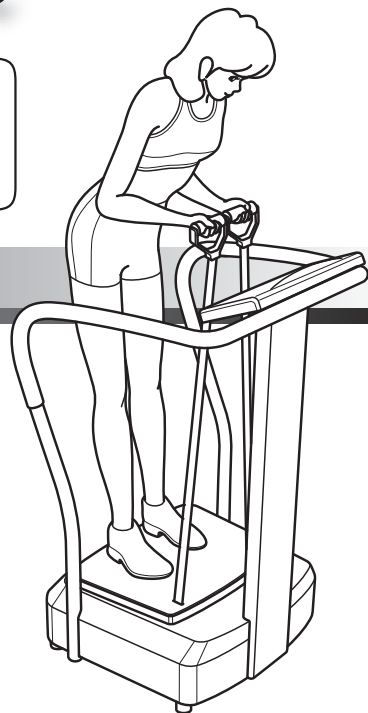
# 使い方

## 7. フィットガイド (ベルトプラス編)

～ 今日から楽しくトレーニング～

### ⚠ 注意

はだしでは使用しないでください。事故やけがの恐れがあります。初めてお使いになる方や高齢者の方は、必ず振動の少ない中央位置から始めてください。スピードも遅い状態から始めてください。  
注) 危険ですので、ベルトに体重をあずけるほど強く引かないでください。



### 両手合せ、腕・腰曲げポーズ

ハンドルを両手で持ち、運動板の中央に両足を閉じて立ち、ベルトを引き上げてください。

### ⚠ 注意

必要以上に振動を与えると、体に悪影響を及ぼす恐れがあります。

全身の運動になります。

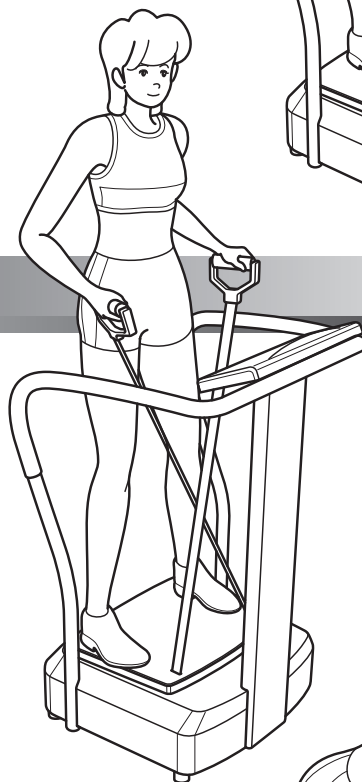
### 両手クロス、直立ポーズ

ベルトをクロスした状態でひざを少し曲げ、ベルトを引き上げてください。

### ⚠ 注意

ひざを曲げずに直立姿勢で使用すると、頭が強くゆれたり、ひざ関節に負担がかかる恐れがあります。

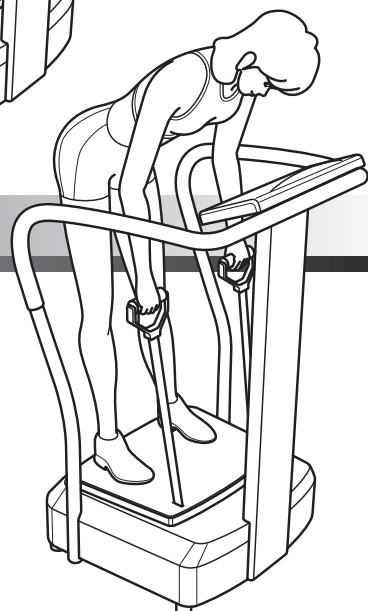
全身の運動になります。



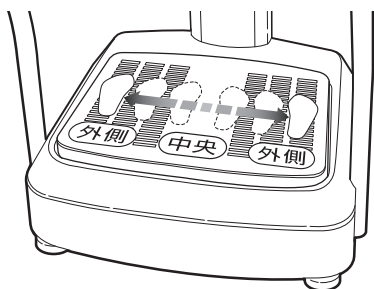
### 両手広げ、腕・腰曲げポーズ

ベルトを短くした状態で、ひざ・腰・腕をそれぞれ少し曲げ、ベルトを引き上げてください。

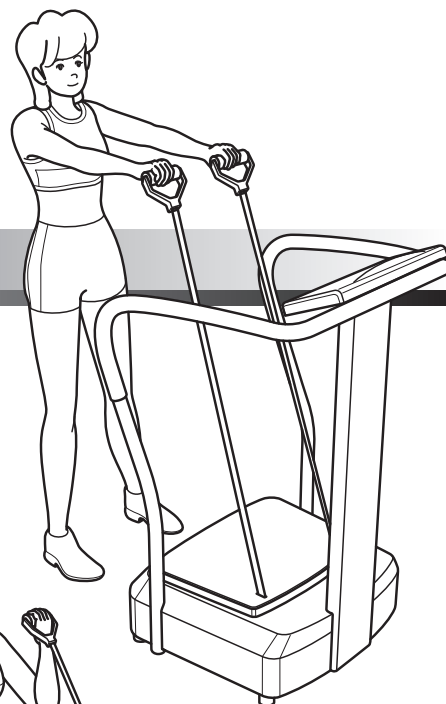
上半身の運動になります。



## ポイント → (足の開き幅で振動の強さを調節することができます。)



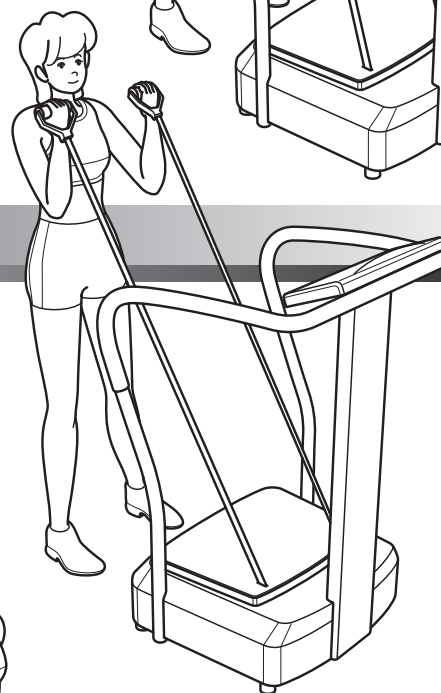
運動板の中央から外側へ足を開くにつれて、振動は強くなります。ご自身の体調に合わせた無理のない強さでご使用ください。運動板より足がはみ出さないようご注意ください。



## 両手水平のばし、直立ポーズ

本機の前に立ち、ハンドルを持った腕を水平にのばしてください。

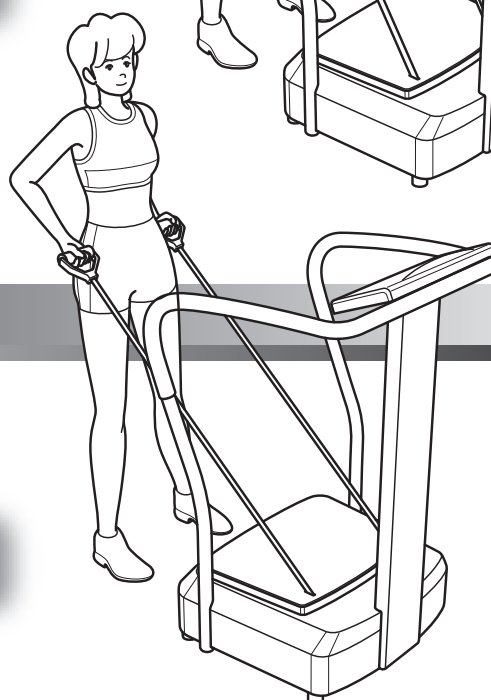
腕、肩の運動になります。



## 両腕曲げ、直立ポーズ

本機の前に立ち、ベルトを手前に引き上げてください。

腕の運動になります。



## 両手腰、直立ポーズ

本機の前に立ち、ハンドルを腰の高さで後ろへ引いてください。

腕、胸まわりの運動になります。

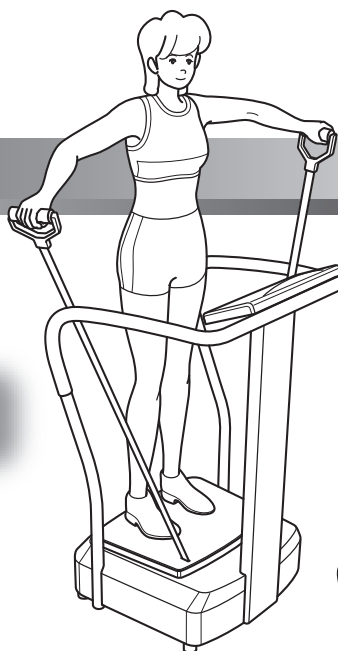


# 使い方

## 両腕広げ、直立ポーズ

運動板の上に立ち、両ハンドルを左右に広げてください。

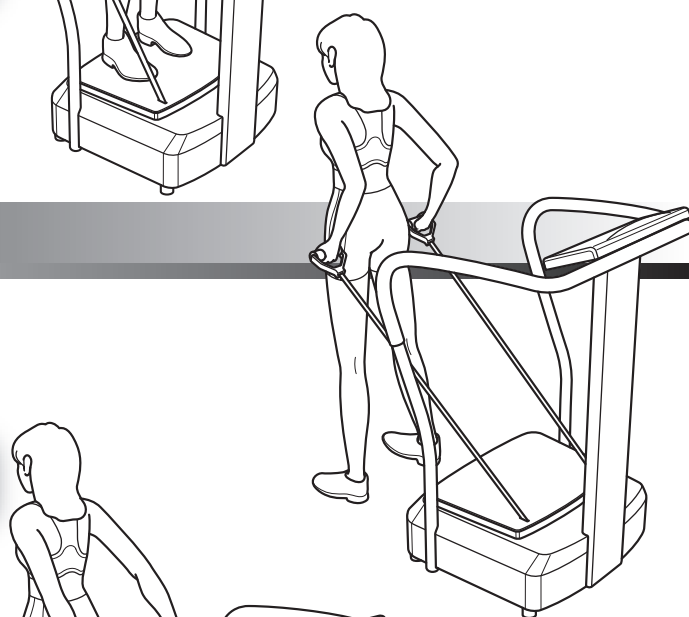
腕、肩、胸まわりの運動になります。



## 後向き両手腰、直立ポーズ

本機の前に後向きに立ち、ハンドルを腰の高さで前へ引いてください。

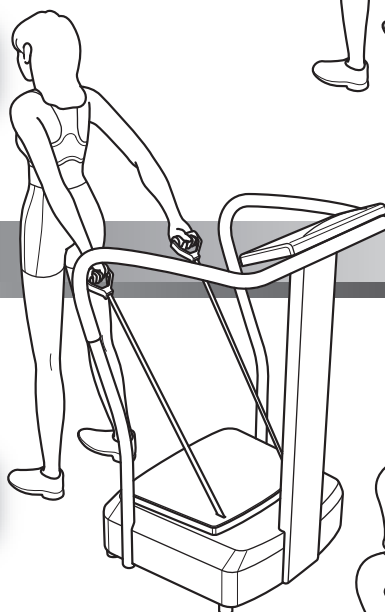
腕、背筋の運動になります。



## 後向き両腕のばし、直立ポーズ

本機の前に後向きに立ち、腕を後へのばした状態でベルトを引いてください。

腕、背筋の運動になります。



## 両腕のばし、座りポーズ

本機の前に椅子に座った状態で、両足を運動板にのせ、ベルトを手前に引き上げてください。



注意  
キャスター付の椅子は使用しないでください。  
不安定な椅子は使用しないでください。

上半身、脚の運動になります。



# お手入れ・故障かなと思ったら・主な仕様

## 8. 日常のお手入れ

日常のお手入れを定期的に行ってください。動作が安定し、故障を防ぎます。

主なお手入れ方法は次の3項目です。

- ① 設置場所について、湿気の多い場所及び火気のそばに置かないでください。
- ② 使用後、柔らかい布で表面の汚れをきれいに拭いてください。
- ③ 長時間使用しないときは、主電源スイッチを切って電源コードを抜いてください。

## 9. 故障かな?と思ったら、次のことをお確かめください

症 状	原 因	対 処 方 法
1 表示パネルが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆外部電源が入力されていない</li> <li>◆本体電源スイッチが入っていない</li> <li>◆サーキットブレーカーが作動している</li> <li>◆LED表示不良</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➔ 電源コードが抜けていないか又は本体電源スイッチが切れていないか、確認してください</li> <li>➔ 本体電源スイッチ横のサーキットブレーカーの赤いボタンを押す</li> <li>➔ 修理依頼</li> </ul>
2 表示パネル部は点灯するが、本体が作動しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆パネルのスイッチが正しく押されていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➔ スイッチを正しく押してください</li> </ul>
3 作動中、異常な音が出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆接触している物がある</li> <li>◆重量オーバーしてないか</li> <li>◆床にガタツキなく設置されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➔ 障害物を除去してください</li> <li>➔ 必ず仕様にあった重量でご利用ください</li> <li>➔ 4ページの「設置について」を参考にしてアジャスター脚を調整する</li> </ul>
4 本体の安定性が悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆床にガタツキなく設置されていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➔ 4ページの「設置について」を参考にしてアジャスター脚を調整する</li> </ul>

## 10. 主な仕様

製 品 名	ダイエットトレーナー エフェクト プラス	
製 品 番 号	DT-2	
手動モードのスピード設定範囲	1 (最小)~20 (最大)	
自動モードの スピード変化パターン (タイマーは5分固定)	「 P 1 」	「1→2→3→4→5」
	「 P 2 」	「2→4→6→8→10」
	「 P 3 」	「4→10→4→10→4」
タイマー設定範囲	手動モード：1分~15分、自動モード：5分固定	
電 源	電 圧	AC100V
	周 波 数	50/60Hz
	消費電力	75W (無負荷時)
本 体 寸 法	約幅 720 mm X 奥行 700 mm X 高さ 1190 mm	
本 体 質 量	約 46 kg	
使 用 範 囲	体重 120 kgまで	
保 証 期 間	1 年間	

「本製品は、改良のため予告なく、仕様等を変更する事があります。」

# 修理・サービスと保証

## 愛情点検



### 愛情点検

長年ご使用の場合は  
点検をぜひ！

このような症状はありませんか。

- こげくさい臭いがする。
- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- その他の異常がある。

ご使用  
中止

故障や事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずご購入先、またはフジ医療器に点検・修理をご相談ください。

お願い しばらく使用しなかった機器を使用するときは、使用前に機器が正常に作動することを確認してください。

## アフターサービスについて

14ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてから、ご購入先にご連絡ください。

### ①保証書（別に添付してあります）

お買い上げの際に保証書をご購入先からお受け取りになり「お買い上げ日」・「ご購入先名」欄の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### ②保証期間中に修理を依頼される場合

この商品の保証期間は、お買い上げ日から1年間です。ご購入先にご相談ください。保証書の記載内容に従って修理いたします。（なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。）

### ③保証期間を過ぎて修理を依頼される場合

まずご購入先にご相談ください。修理により、製品機能が維持できる場合には、ご要望に従い有料にて修理いたします。

### ④その他ご不明な場合

保証期間中の修理などアフターサービスについてのご不明な点は、ご購入先、またはフジ医療器サービス網までお問い合わせください。

### ●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料

診断・故障箇所の修理おそび部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代

修理に使用した部品および補助材料費です。

出張料

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

### ●補修用性能部品の保有期間

当社は本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## お客様相談窓口

0120 フリーダイヤル

0120-027612

受付：月曜～金曜 午前10時～12時  
午後 1時～ 5時

※但し、祝祭日、年末年始、夏期休暇は  
休ませていただきます。

FAX・E-mailでの受付も行っております。

FAX番号：06-6644-9103

E-mail：fj\_soudansitu@fujiiro.co.jp

※FAX・E-mailでの受付は24時間行っておりますが、お客様へのご連絡はフリーダイヤルの受付時間となります。

お客様へ…ご購入年月日・ご購入店名を記入されると便利です。

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	TEL



美と健康の総合メーカー  
株式会社 **フジ医療器**

大阪府大阪市浪速区日本橋東3丁目15番1号

071201(1)